

第2章 県内事業所アンケート調査

2.1 調査対象の抽出

(1) 基本的な考え方

配布総数

- ・従業員規模10人以上の民営事業所を対象に500事業所とした。

対象事業所選定の視点

以下の視点から、各広域市町村圏（10地域）について50事業所（各業種4～5事業所）を選定した。

各地域の対象事業所数

- ・統計的精度を確保した上で、地域による傾向を把握できることが望ましいが、そのためには多くの事業所数を対象とする必要がある。
- ・一方で、配布数が限られている中では、地域ごとに統計的精度を確保可能な事業所数を対象にできないため、回収結果の集計は県全体で行わざるを得ない。
- ・この際、調査結果における地域による偏りを少なくする観点から、各広域市町村圏域における対象事業所数は同数（各地域50事業所）とした。

事業所の業種区分

- ・業種による偏りを少なくするため、基本的に各業種から同数の事業所を選定した。

1. 建設業	2. 製造業	3. 卸売業・小売業
4. 飲食店・宿泊業	5. 金融・保険業	6. 医療・福祉
7. 不動産業	8. 運輸業	9. 情報通信業
10. 教育・学習支援業	11. その他	

(2) 調査対象の抽出

民間の情報データベース提供会社の事業所関連データをもとに、調査対象とする事業所を地域別・業種別に無作為に抽出した。

[調査対象の抽出結果]

	佐久地域	上小地域	諏訪地域	上伊那地域	飯伊地域	木曽地域	松本地域	大北地域	長野地域	北信地域	計
1.建設業	5	5	5	5	5	7	5	6	5	6	54
2.製造業	5	5	5	5	5	8	5	6	5	6	55
3.卸売業,小売業	5	5	5	5	6	6	5	7	5	6	55
4.宿泊業,飲食サービス業	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50
5.金融業,保険業	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	49
6.医療,福祉	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50
7.不動産業,物品賃貸業	4	4	4	4	4	2	4	3	4	5	38
8.運輸業,郵便業	4	4	4	4	4	5	4	5	4	5	43
9.情報通信業	4	4	4	4	4	1	4	2	4	1	32
10.教育,学習支援業	4	4	4	4	3	1	4	1	4	0	29
11.その他	4	4	4	4	4	6	4	5	4	6	45
計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500

2.2 調査票の作成

[アンケート調査票 (A 4 版): その 1]

長野県の交通に関するアンケート調査

【回答の記入について】

- ・番号を選択する設問は、該当する番号を選び○で囲んでください。
- ・の箇所には、具体的な内容をご記入ください。

■ 貴社・団体（事業所）のことについてお聞きします。

所在地	<input type="text"/> 市・郡 <input type="text"/> 町・村 大字 <input type="text"/>		
区分	1. 本社（本部）	2. 支社（支部）	3. その他（ <input type="text"/> ）
業種	1. 建設業	2. 製造業	3. 卸売業・小売業
	4. 飲食店・宿泊業	5. 金融・保険業	6. 医療・福祉
従業員数	7. 不動産業	8. 運輸業	9. 情報通信業
	10. 教育・学習支援業	11. その他（ <input type="text"/> ）	
従業員数	貴事業所（ <input type="text"/> ）人 （参考）全社・団体（ <input type="text"/> ）人		

問 1 普段の事業活動における長野県外との関わりについてお聞きします。

(1) 業務上、長野県外との行き来はありますか。

1. ある ⇒下記の(2)にお答えください 2. ほとんどない ⇒問2へ

(2) 業務上、行く機会が多いと考えられる長野県外の行き先（都道府県）はどこですか？
（上位3地域までを下記に記入）

また、その際の主な目的、利用する機会の多い交通手段は何ですか？

	行き先 ※都道府県名を記入	主な目的 ※選択肢1から1つ選択	交通手段 ※選択肢2からすべて選択
最も行く機会が多い行き先	<input type="text"/> 都・道・府・県	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2番目に行く機会が多い行き先	<input type="text"/> 都・道・府・県	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3番目に行く機会が多い行き先	<input type="text"/> 都・道・府・県	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【選択肢1：目的】

1. 企業内活動（支社間・事業所間の会議等）
2. 営業（マーケット拡大、新規顧客の獲得等）
3. 通常の業務活動
（定常業務：打合せ、定期的な訪問等）
4. その他（）

【選択肢2：交通手段】

1. 自動車
2. レンタカー
3. 鉄道（新幹線）
4. 鉄道（在来線）
5. 高速バス
6. 航空機
7. その他（）

[アンケート調査票 (A 4 版): その 2]

問 2 長野県内での普段の事業活動についてお聞きします。

業務上、行く機会が多いと考えられる長野県内の行き先（長野県内の市町村）はどこですか？（上位3市町村までを下記に記入）

また、その際の主な目的、利用する機会の多い交通手段は何ですか？

	行き先 ※長野県内の市町村名を記入	主な目的 ※選択肢1から1つ選択	交通手段 ※選択肢2からすべて選択
最も行く機会が多い行き先	<input type="text"/> 市・町・村	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2番目に行く機会が多い行き先	<input type="text"/> 市・町・村	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3番目に行く機会が多い行き先	<input type="text"/> 市・町・村	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【選択肢1：目的】

1. 企業内活動（支社間・事業所間の会議等）
2. 営業（マーケット拡大、新規顧客の獲得等）
3. 通常の業務活動
（定常業務：打合せ、定期的な訪問等）
4. その他（）

【選択肢2：交通手段】

1. 自動車
2. レンタカー
3. 鉄道（新幹線）
4. 鉄道（在来線）
5. 高速バス
6. 路線バス
7. その他（）

問 3 リニア中央新幹線が開業した場合についてお聞きします。

※リニア中央新幹線の概要については、別紙をご参照ください。

(1) 事業活動をするために、リニア中央新幹線を利用して県外を訪問する可能性はありますか？（1つに○）

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1. <input type="radio"/> 可能性はとても高い | } ⇒下記の関連する質問①～③にもお答えください |
| 2. <input type="radio"/> 可能性はある | |
| 3. <input type="radio"/> 可能性はない | |
| 4. <input type="radio"/> わからない | } ⇒(2)へ |

①事業活動をする上で、どのような方面を訪問する機会が増える可能性がありますか？
（該当するもの全てに○）

ア. 首都圏 イ. 中京圏 ウ. 関西圏 エ. その他（）

②貴事業所からリニア中央新幹線を利用する場合、従業員の方はどの駅を利用する可能性がありますか？（該当するもの1つに○）

ア. 長野県飯田市・下伊那郡地域にできる駅 イ. 山梨県甲府市周辺にできる駅
ウ. 岐阜県中津川市にできる駅

③貴事業所からリニア中央新幹線駅までの交通手段として、従業員の方は何を利用する機会が多いと思いますか？（該当するものすべてに○）

ア. 自動車 イ. 鉄道 ウ. 路線バス エ. 高速バス
オ. タクシー カ. レンタカー キ. その他（）

[アンケート調査票 (A 4 版): その 3]

(2) リニア中央新幹線を利用して県外へ移動するために、どのような対応が必要だと思いますか？ (重要なもの2つまでに○)

1. リニア中央新幹線駅と周辺地域を連絡する路線バスの拡充
2. リニア中央新幹線と接続する鉄道の利便性向上
3. リニア中央新幹線駅における自動車駐車場の整備
4. リニア中央新幹線駅におけるレンタカーの整備
5. リニア中央新幹線駅へのアクセス道路の整備
6. リニア中央新幹線駅周辺及びアクセス道路における分かりやすい案内標識の設置
7. その他 ()
8. 特に必要ない
9. わからない

(3) リニア中央新幹線が開業した場合、貴事業所の事業や営業範囲等の変化は考えられますか？ (1つに○)

1. 変化すると思う
 2. 特に変わらないと思う
 3. わからない
- ⇒下記の関連する質問にもお答えください
⇒ (4) へ

○どのような変化が考えられますか？ (該当するもの2つまでに○)

- ア. 長野県外の企業・顧客との新たな取引や取引増加が期待できる
- イ. 長野県外に新たな事業所・営業所等を設ける可能性がある
- ウ. 長野県外の支社・事業所等を撤退あるいは縮小する可能性がある
- エ. 長野県外に本社機能を移転する可能性がある
- オ. これまで行っていた長野県内の企業との取引を他県へ移すことがある
- カ. 出張の形態が宿泊から日帰りになる
- キ. その他 ()

(4) リニア中央新幹線開業に併せて、県や市町村が取り組むことが望ましいと考える事項はありますか？

下記の1)～3)についてそれぞれお答えください。

1) リニア中央新幹線の駅に関わる交通面での取り組み (重要なもの2つまでに○)

1. 駅のより近くに中央自動車道のスマートインターチェンジを新設すること
2. 駅へのアクセス道路を整備すること
3. 駅の周辺に駐車場を整備すること
4. バス、タクシーなどが待機することができる駅前広場を整備すること
5. 駅またその周辺に商業施設を整備すること
6. 駅周辺及びアクセス道路の案内標識を分かりやすく設置すること
7. その他 ()

[アンケート調査票 (A 4 版): その 4]

2) 産業・観光面での取り組み (重要なもの2つまでに○)

1. 工業団地の整備や企業進出のための用地を確保すること
2. 事業を拡大するための支援制度を充実させること
3. 新たな観光資源の発掘や既存の観光資源のレベルアップを図ること
4. 企業誘致や観光情報などの情報発信・PRを行うこと
5. 教育機関と連携した地域の核となる人材の育成を行うこと
6. その他 ()

3) まちづくり面での取り組み (重要なもの1つに○)

1. リニア中央新幹線駅を中心とした魅力ある一体的な開発を行うこと
2. 適切な開発規制を行うこと
3. リニア中央新幹線駅周辺の都市機能を充実させること
4. その他 ()

(5) リニア中央新幹線開業に期待する事項や不安な事項はありますか？
下記の1)～2)についてそれぞれお答えください。

1) 特に期待する事項 (3つまでに○)

1. 販路の拡大や県外との取引が増加すること
2. 新たな産業集積による県内の取引が増加すること
3. 県内への研究機関や企業の立地が増加すること
4. 空港が時間的に近くなり、国内の離れた地域や海外へ行きやすくなること
5. 宿泊を伴う移動が日帰りになる等、経費削減が実現すること
6. 公共交通など他の社会基盤整備が進み、利便性が向上すること
7. 長野県のイメージアップにつながる
8. 周辺市町村との連携が促進されること
9. その他 ()
10. 特になし

2) 特に不安を感じる事項 (3つまでに○)

1. 競合他社が増加すること
2. 長野県から大都市に資本や人材が流出すること
3. 地価が上昇すること
4. 移動コストが増加すること
5. リニア中央新幹線の駅周辺等において無計画な開発が進むこと
6. 現在の在来線・高速バスの運行本数が減少すること
7. 長野県の個性や魅力が損なわれること
8. その他 ()
9. 特になし

[アンケート調査票 (A 4 版): その 5]

問 4 北陸新幹線が金沢駅まで延伸された場合についてお聞きます。

※北陸新幹線の概要については、別紙をご参照ください。

北陸新幹線が金沢駅まで延伸された場合、貴事業所の事業や営業範囲等の変化は考えられますか？ (1 つに〇)

- 1. 変化と思う
- 2. 特に変わらないと思う
- 3. わからない

▽どのような変化が考えられますか？ (該当するもの 2 つまでに〇)

- ア. 長野県外の企業・顧客との新たな取引や取引増加が期待できる
- イ. 長野県外に新たな事業所・営業所等を設ける可能性がある
- ウ. 長野県外の支社・事業所等を撤退あるいは縮小する可能性がある
- エ. 長野県外に本社機能を移転する可能性がある
- オ. これまで行っていた長野県内の企業との取引を他県へ移すことがある
- カ. 出張の形態が宿泊から日帰りに変わる
- キ. その他 ()

問 5 公共交通機関の利用に関し、従業員の通勤手段についてお聞きます。

(1) 従業員の通勤における公共交通の利用についてお聞きます。

1) 従業員に対して、公共交通の利用促進を行っていますか？ (該当するもの 1 つに〇)

<ul style="list-style-type: none"> 1. 公共交通の利用を促進している 2. 公共交通の利用促進の必要性は感じているが、特に何もしていない 3. 公共交通の利用促進の必要性を感じない 4. その他 () 	} ⇒下記の質問Aにもお答えください	
<ul style="list-style-type: none"> 1. 公共交通の利用を促進している 2. 公共交通の利用促進の必要性は感じているが、特に何もしていない 3. 公共交通の利用促進の必要性を感じない 4. その他 () 	} ⇒下記の質問Bにもお答えください	

【質問A】公共交通の利用を促進するために、どのような取り組みを実施されていますか？ (該当するもの全てに〇)

- ア. 通勤用の駐車場を設けない、あるいは必要最小限で設置している
- イ. 通勤における自家用車の利用基準 (距離制限等) を厳しくしている
- ウ. 従業員に公共交通の時刻表や路線図を提供している
- エ. ノーマイカーデーの実施
- オ. 公共交通の利用を定期的に呼びかけている
- カ. 勤務時間の変更 (公共交通のダイヤに合わせて) をしている
- キ. その他 ()

【質問B】公共交通の利用促進に取り組むために必要なことは何ですか？ (特に必要なもの 2 つに〇)

- ア. 通勤時間帯における鉄道やバスの運行本数を増やすこと
- イ. 鉄道やバスの始発や終発時刻を拡大すること
- ウ. 公共交通の運行時間を正確に保つこと
- エ. 事業所の近くにバス停があること
- オ. バス運賃に上限を設けること
- カ. バリアフリー化を促進すること
- キ. 駅やバス停にパーク・アンド・ライド駐車場を整備すること
- ク. 自動車の通勤手当よりも公共交通による通勤料金が安くなること
- ケ. その他 ()

[アンケート調査票 (A 4 版): その 6]

2) 公共交通の利用促進のために協力可能な取り組みはありますか？ (該当するもの全てに〇)

- 1. 従業員への公共交通の時刻表や路線図の提供・配布
- 2. 通勤手当を見直し、公共交通利用者を優遇
- 3. ノーマイカーデーの実施
- 4. 自家用車での通勤の基準を厳しく (距離制限等) する
- 5. 通勤用の駐車場を設けない、あるいは必要最小限での設置
- 6. パーク・アンド・ライド駐車場を利用した通勤の奨励
- 7. 勤務時間の変更 (公共交通のダイヤに合わせて)
- 8. その他 ()
- 9. 特にない

問 6 今後の交通政策の進め方についてお聞きます。

長野県の産業活動を強化・維持していくため、また、貴事業所の業務活動を支援するための交通面での取り組みとして、今後、何を重視していくべきだと思いますか。 (特に重要なもの 3 つに〇)

- 1. 通勤時間帯における道路混雑の緩和
- 2. 日中における道路混雑の緩和
- 3. 時間短縮、物流コスト低減につながる幹線道路等の整備
- 4. 舗装や除雪等の管理が徹底された安全な道路環境
- 5. 地域鉄道の維持・存続
- 6. 広域的な交流を促進する広域的な公共交通体系の構築・整備
- 7. ICカード対応等が図られた公共交通のIT化
- 8. 公共交通の乗り継ぎのシームレス化 (抵抗なく乗り継ぎができる)
- 9. 信州まつもとと空港における、国内路線の拡充
- 10. 信州まつもとと空港における、ビジネスジェットの利用促進
- 11. 信州まつもとと空港における、国際定期便の就航
- 12. その他 ()
- 13. 特にない

問 7 長野県の交通に関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

[お願い文 (A 4 版)]

(表)

長野県の交通に関するアンケート調査ご協力をお願い

ご担当者様

日頃から県政に対しまして特段のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
人口減少やさらなる高齢化等が見込まれる中で、北陸新幹線の延伸やリニア中央新幹線の開業など、長野県の交通を取り巻く環境が大きく変化するものと考えられます。

そこで、長野県では、今後の交通政策をどのような方向性で進めていくべきかを検討し、概ね 15 年後を目標とした『長野県新総合交通ビジョン』として取りまとめる予定をしております。

この調査は、県内の事業所について、その活動状況や交通に関する意向等をお聞きし、『長野県新総合交通ビジョン』策定の参考資料とさせていただきます。

回答いただいた内容は、全て統計資料として扱わせていただき、個別の内容を公表することは一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 24 年 2 月 長野県

この調査は、長野県が実施主体となって、パシフィックコンサルタンツ株式会社長野事務所に調査業務を委託して実施しております。

◆ 調査対象について

長野県内に立地する事業所から、業種や従業員規模等を考慮し、無作為に抽出させていただいた事業所を対象としています。

◆ 記入方法について

回答は、各質問の指示に従って当てはまる番号を○で囲むか、回答を記入欄に直接ご記入ください。

◆ 調査票の返送について

回答いただいた調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、下記の期日までに投函（切手不用）してください。

投函期限：平成 24 年 2 月 27 日（月）まで

《調査担当課》 長野県 企画部 交通政策課 交通企画係
担当：細川・飛沢 電話 026-235-7015（直通）

《調査票の記入に関するお問い合わせ先》
調査票の記入に当たって、ご不明な点やご質問等ございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

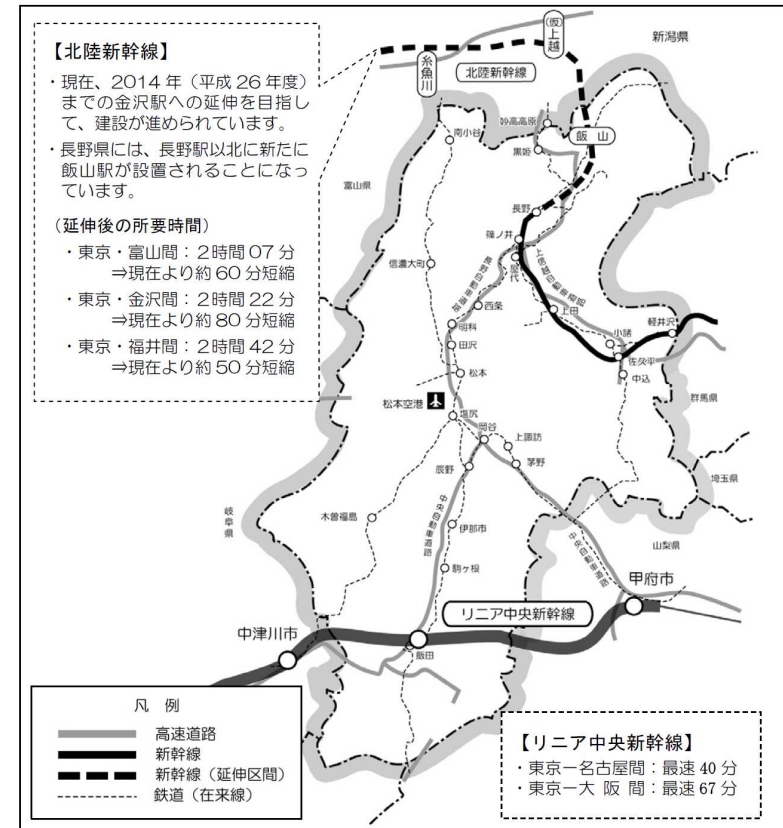
パシフィックコンサルタンツ株式会社 アンケート調査係
担当：中嶋・桂田 電話 0120-068-226（フリーダイヤル）

(裏)

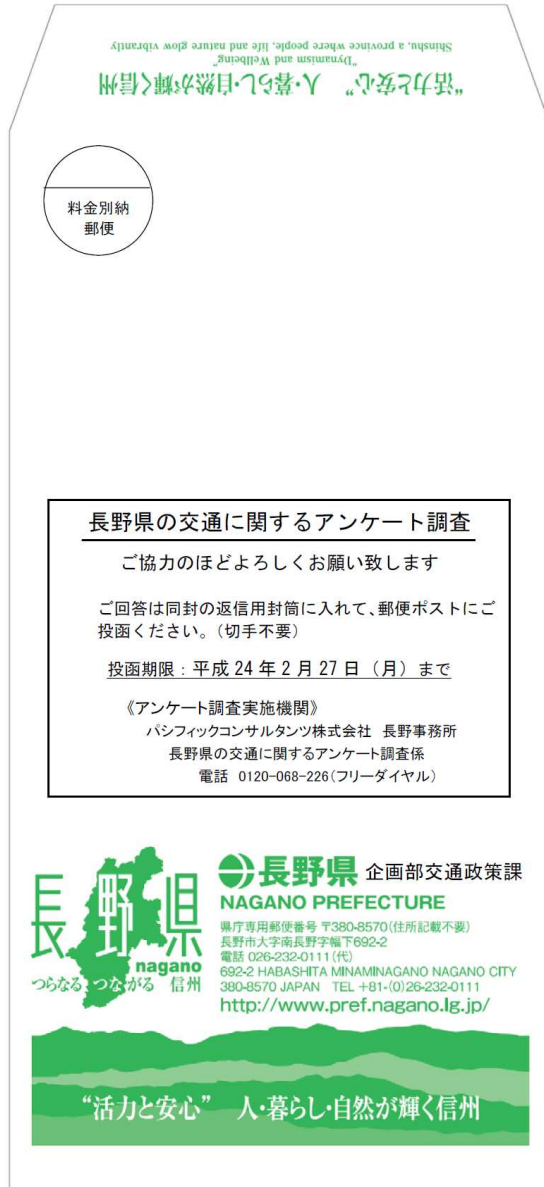
別紙

リニア中央新幹線等の概要

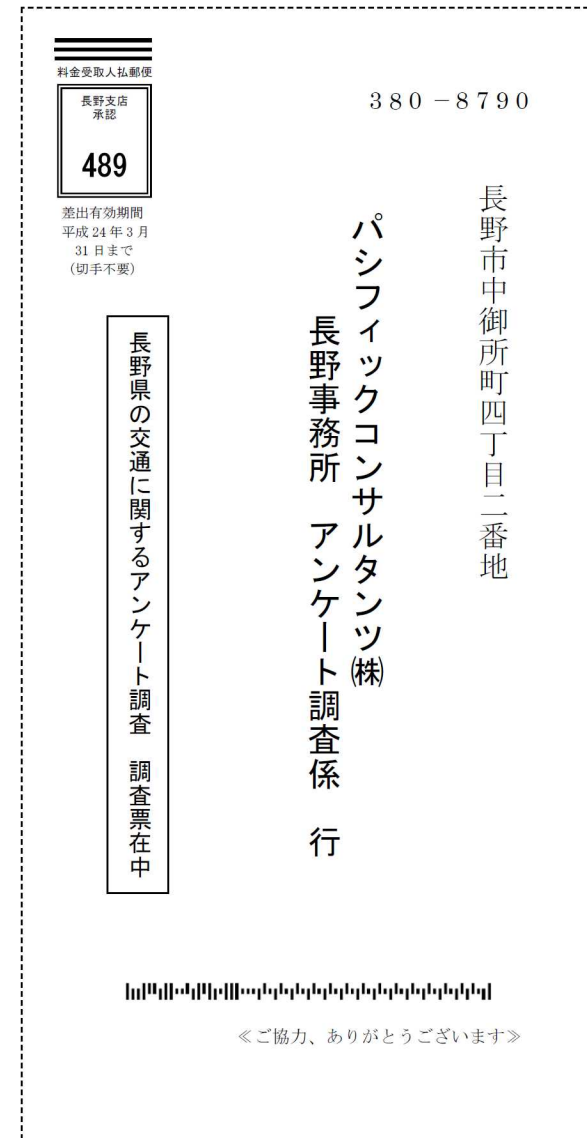
- ・リニア中央新幹線は、東京都から、甲府市付近、名古屋市付近、奈良市付近を主な経過地とし、大阪市までを時速 500km で走行する超電導磁気浮上式リニアモーターカーによって結ぼうとするものであり、2027 年（平成 39 年）の東京～名古屋間の先行開業が目指されています。
- ・沿線都府県にそれぞれ 1 駅ずつ設置される予定であり、長野県は飯田市・下伊那郡地域に駅が設置されることになっています。
- ・これにより、飯伊地域を中心に、東京方面や名古屋方面との大幅な所要時間短縮と交流促進が期待されています。



[発送用封筒 (長 3)]



[返送用封筒 (長 3)]



[調査協力お礼状]

**「長野県の交通に関するアンケート」に
ご協力いただいた事業所の皆様へ**

このたびは、「長野県の交通に関するアンケート」にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

ご協力いただいた調査の結果は、今後の長野県における交通政策の方向性を検討する上で、重要な参考資料として活用してまいりたいと考えております。

まだ回答がお済みでない場合には、年度末のご多用のところ誠に恐縮ですが、趣旨にご理解を賜り、至急、ご投函いただきますようお願い申し上げます。

平成 24 年 2 月 長野県

《お問合せ先》

長野県 企画部 交通政策課 交通企画係
担 当 : 細川(ほそかわ)・飛沢(とぶさわ)
電話 026-235-7015(直通)

2.3 配布・回収結果

(1) 実施概要

項目	内容	備考
調査対象	・長野県内の民営事業所 ・広域市町村圏（10地域）各地域50事業所 （計500事業所）	
調査方法	・郵送配布、郵送回収	
調査票回収期間	・発送日：平成24年2月16日（木） ・最終回収日：平成24年3月15日（木）	
回収結果	・回収数：265票（回収率53%）	

注

- 1 グラフ内等に記載している「n」は母数を示す。
例：（n = 152）は、「152人が回答」という意味を示している。
- 2 集計結果は、地域別の集計を除き、地域区分不明（エリア不明）を含む県全体（参考値）の回答数の単純合計である。

(2) 回収結果

地域別回収数

区分	回答数	構成比	回収率
佐久地域	19	7.2%	38.0%
上小地域	28	10.6%	56.0%
諏訪地域	24	9.1%	48.0%
上伊那地域	27	10.2%	54.0%
飯伊地域	28	10.6%	56.0%
木曽地域	30	11.3%	60.0%
松本地域	24	9.1%	48.0%
大北地域	27	10.2%	54.0%
長野地域	30	11.3%	60.0%
北信地域	26	9.8%	52.0%
無回答	2	0.8%	4.0%
合計	265	100.0%	53.0%

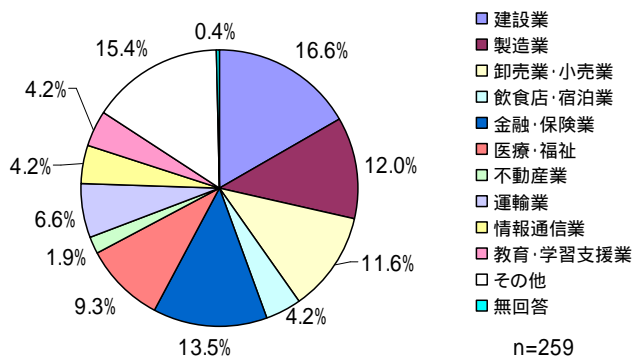
（本社・支社等の区分）

区分	件数	構成比
本社（本部）	139	52.7%
支社（支部）	70	26.5%
その他	46	17.4%
無回答	9	3.4%
合計	264	100.0%
無効	1	

業種別回収数

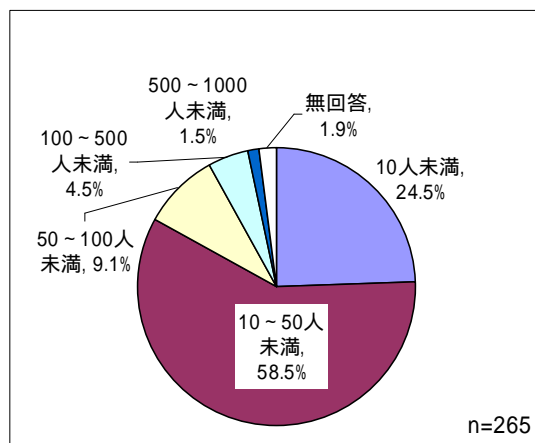
区分	件数	構成比	回収率
建設業	43	16.6%	79.6%
製造業	31	12.0%	56.4%
卸売業・小売業	30	11.6%	54.5%
飲食店・宿泊業	11	4.2%	22.0%
金融・保険業	35	13.5%	71.4%
医療・福祉	24	9.3%	48.0%
不動産業	5	1.9%	13.2%
運輸業	17	6.6%	39.5%
情報通信業	11	4.2%	34.4%
教育・学習支援業	11	4.2%	37.9%
その他	40	15.4%	88.9%
無回答	1	0.4%	-
合計	259	100.0%	51.8%
無効	6		1.2%

[業種]

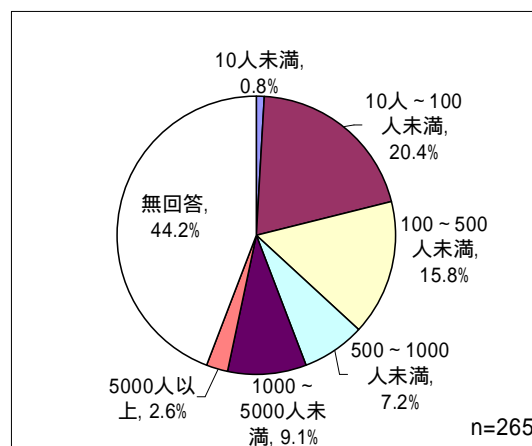


従業員数

[従業員数(貴事業所)]



[従業員数(全社・団体)]



2.4 調査結果

(1) 普段の事業活動における長野県外との関わりについて

業務上の長野県外との行き来の有無

【行き来の有無】

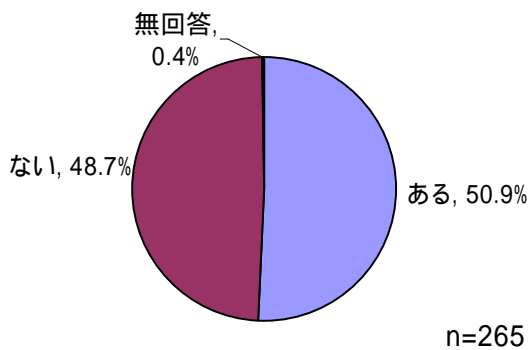
約5割の事業所が、業務上、長野県外との「行き来がある」と回答している。

【長野県外への行き先】

県内の事業所が、業務のために行く機会が多い長野県外の行先として、東京都を中心とした「1都3県」が最も多く、次いで愛知県となっている。

[業務上の長野県外との行き来の有無]

(参考：地域別の状況)



区分	ある	ない	あると回答した事業所の割合
佐久地域	12	7	63.2%
上小地域	14	14	50.0%
諏訪地域	16	8	66.7%
上伊那地域	11	16	40.7%
飯伊地域	17	11	60.7%
木曾地域	17	13	56.7%
松本地域	8	16	33.3%
大北地域	11	16	40.7%
長野地域	18	12	60.0%
北信地域	10	16	38.5%
無回答	1	1	50.0%
県全体(参考値)	135	130	50.9%

[行く機会が多い長野県外への行き先]

区分	1都3県	愛知県	岐阜県	大阪府	新潟県	群馬県	山梨県	その他
1番目に多い行き先	72	18	15	1	8	8	6	7
2番目に多い行き先	33	26	5	12	6	5	4	10
3番目に多い行き先	25	11	0	9	6	4	7	13
合計	130	55	20	22	20	17	17	30

長野県外に行く主な目的と交通手段

【主な目的】

「通常の業務活動」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

【利用する交通手段】

「自動車」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

[長野県外の行き先とその主な目的]

区分	企業内活動	営業	通常の業務活動	その他	無回答	無効	合計
1都3県	38	36	39	15	0	2	130
愛知県	12	13	20	9	0	1	55
岐阜県	4	7	7	2	0	0	20
大阪府	3	12	5	2	0	0	22
新潟県	5	4	10	1	0	0	20
群馬県	2	7	6	2	0	0	17
山梨県	5	5	6	0	0	1	17
その他	2	12	14	2	0	0	30
無回答	0	0	0	0	93	0	93
無効	1	0	0	0	0	0	1
合計	72	96	107	33	93	4	405

[長野県外の行き先と利用する交通手段]

*手段:複数回答

区分	自動車	レンタカー	鉄道 (新幹線)	鉄道 (在来線)	高速バス	航空機	その他	無回答	回答数
1都3県	55	2	54	25	11	0	2	0	130
愛知県	38	0	3	16	4	0	1	0	55
岐阜県	20	0	0	0	0	0	0	0	20
大阪府	9	0	12	7	1	0	1	0	22
新潟県	20	0	2	2	0	0	0	0	20
群馬県	15	1	1	0	0	0	0	0	17
山梨県	17	0	0	1	0	0	0	0	17
その他	23	0	4	2	0	1	1	1	29
無回答	0	0	0	0	0	0	0	93	0
無効	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	198	3	76	53	16	1	5	94	311

(2) 長野県内での普段の事業活動について

【長野県内の行き先】

「長野地域」及び「松本地域」を挙げる事業所が多くなっている。

【主な目的と利用する交通手段】

「通常の業務活動」を挙げる事業所が、最も多くなっている。また、その利用する交通手段では、ほとんどの事業所が「自動車」を挙げている。

[行く機会の多い長野県内の行き先]

区分	1番目に多い行き先	2番目に多い行き先	3番目に多い行き先	合計
佐久地域	12	11	17	40
上小地域	18	9	9	36
諏訪地域	21	24	16	61
上伊那地域	25	20	14	59
飯伊地域	19	16	14	49
木曽地域	12	11	12	35
松本地域	56	48	36	140
大北地域	7	7	8	22
長野地域	63	53	24	140
北信地域	12	12	14	38
無回答	10	47	88	145
無効	10	7	13	30
合計	265	265	265	795

[長野県内の行き先とその主な目的]

区分	企業内活動	営業	通常の業務活動	その他	無回答	無効	合計
佐久地域	6	9	23	1	1	0	40
上小地域	10	9	15	1	1	0	36
諏訪地域	13	9	30	6	3	0	61
上伊那地域	15	16	26	2	0	0	59
飯伊地域	6	14	23	6	0	0	49
木曽地域	2	5	22	6	0	0	35
松本地域	35	28	57	18	2	0	140
大北地域	3	5	11	3	0	0	22
長野地域	46	30	47	15	1	1	140
北信地域	5	13	18	2	0	0	38
無回答	0	0	0	0	145	0	145
無効	4	7	15	0	2	2	30
合計	145	145	287	60	155	3	795

[長野県内の行き先と利用する交通手段]

*手段:複数回答

区分	自動車	レンタカー	鉄道 (新幹線)	鉄道 (在来線)	高速バス	路線バス	その他	無回答	回答数
佐久地域	33	0	1	1	0	0	0	2	34
上小地域	41	0	0	0	0	0	1	13	41
諏訪地域	52	0	1	2	0	0	0	10	53
上伊那地域	64	0	0	2	0	0	0	9	66
飯伊地域	49	0	0	1	0	1	0	7	50
木曾地域	33	0	0	1	0	0	0	3	33
松本地域	130	0	4	9	0	1	1	31	137
大北地域	20	0	0	0	0	0	0	1	20
長野地域	142	4	4	10	1	0	4	33	156
北信地域	29	0	0	0	0	0	3	4	32
無回答	0	0	0	0	0	0	0	30	0
無効	15	0	1	0	0	0	0	14	16
合計	608	4	11	26	1	2	9	157	638

(3) 従業員の通勤手段について

従業員の通勤における公共交通の利用促進の取組について

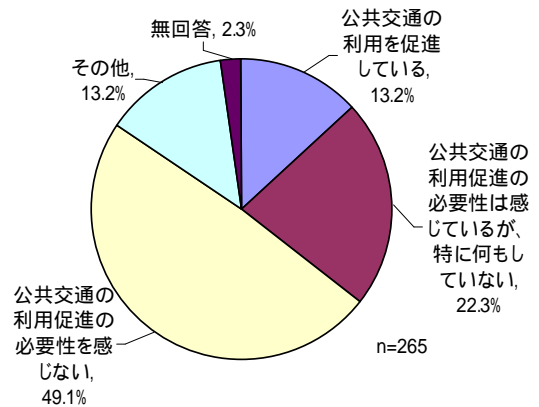
従業員に対して「公共交通の利用を促進している」事業所は、13.2%となっている。

その取り組み内容をみると、「通勤における自家用車の利用基準（距離制限等）を厳しくしている」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

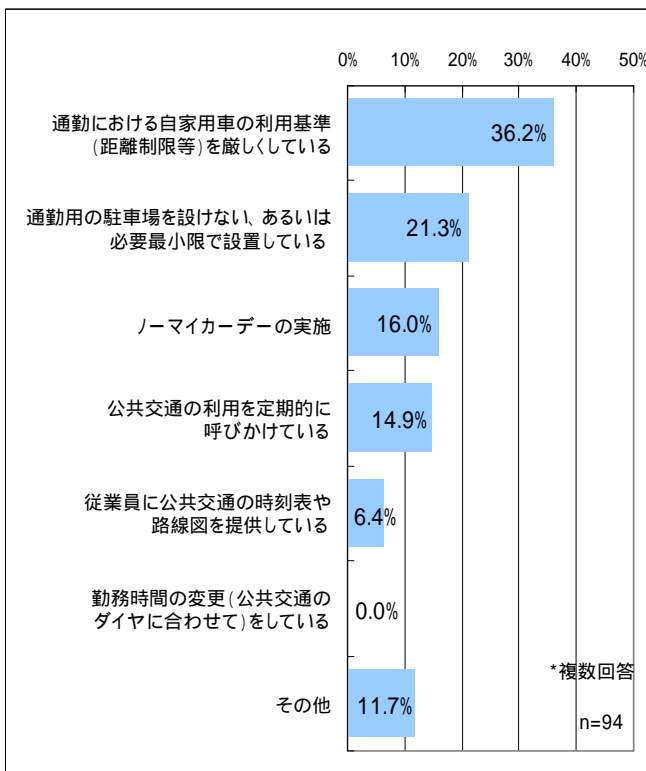
一方で、従業員に対して「公共交通の利用促進の必要性を感じていない」事業所は、49.1%となっている。

公共交通の利用促進の必要性を感じていない事業所について、利用促進に取り組むために必要なことをみると、「通勤時間帯における鉄道やバスの運行本数を増やすこと」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

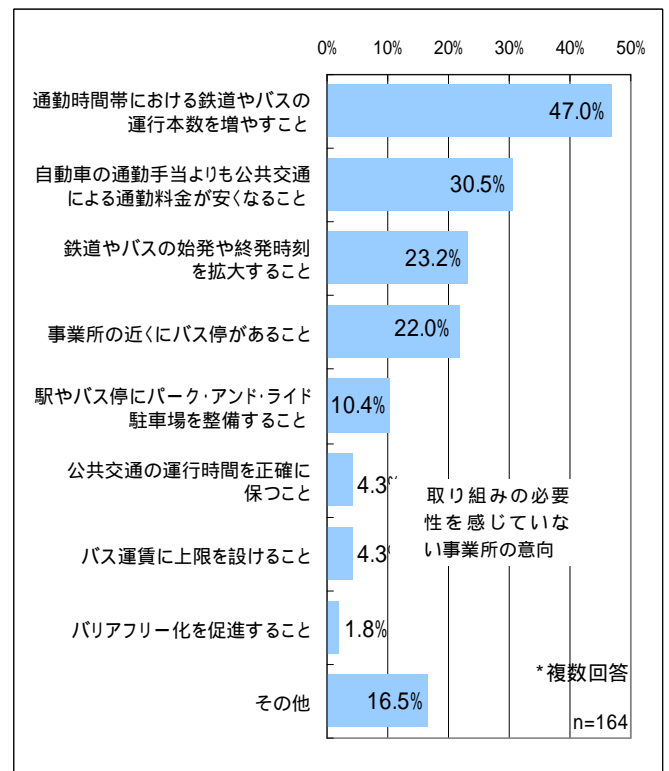
[公共交通の利用促進に関する取組状況]



[公共交通の利用を促進するために実施している取組]



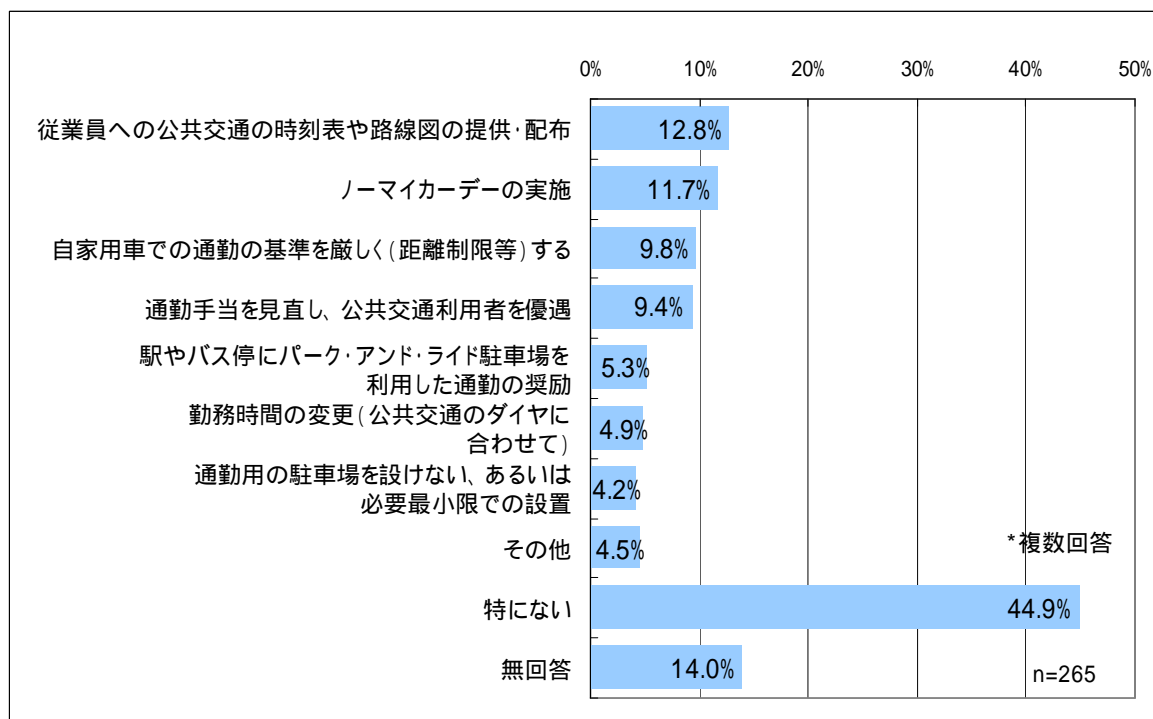
[公共交通の利用促進に取り組むために必要なこと]



公共交通の利用促進のために協力可能な取組

「特にない」と挙げる事業所が最も多く、44.9%となっているが、「従業員への公共交通の時刻表や路線図の配布・提供」12.8%、「ノーマイカーデーの実施」11.7%となっている。

[協力可能な取組]

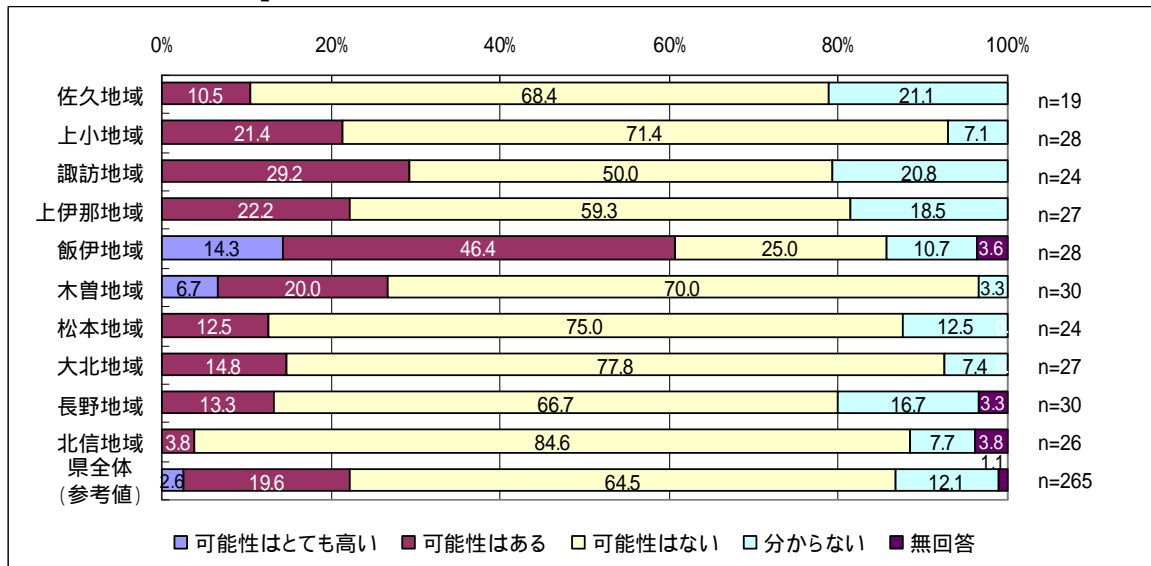


(4) リニア中央新幹線が開業した場合の事業活動について

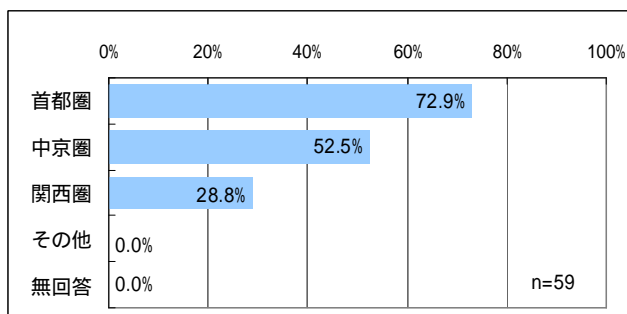
事業活動においてリニア中央新幹線を利用して県外を訪問する可能性

「飯伊地域」では、「可能性はある」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

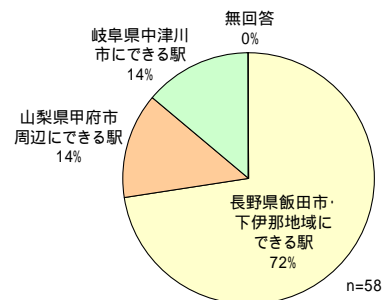
[県外を訪問する可能性]



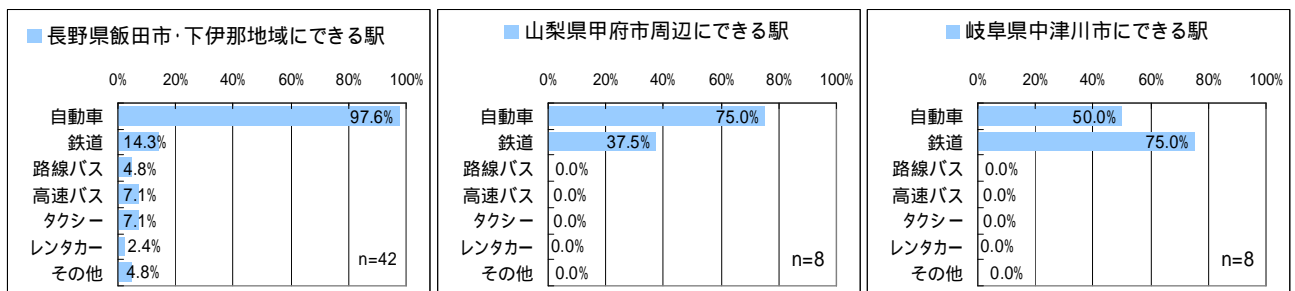
[訪問する機会が増える可能性がある方面]



[利用する可能性があるリニア中央新幹線駅]



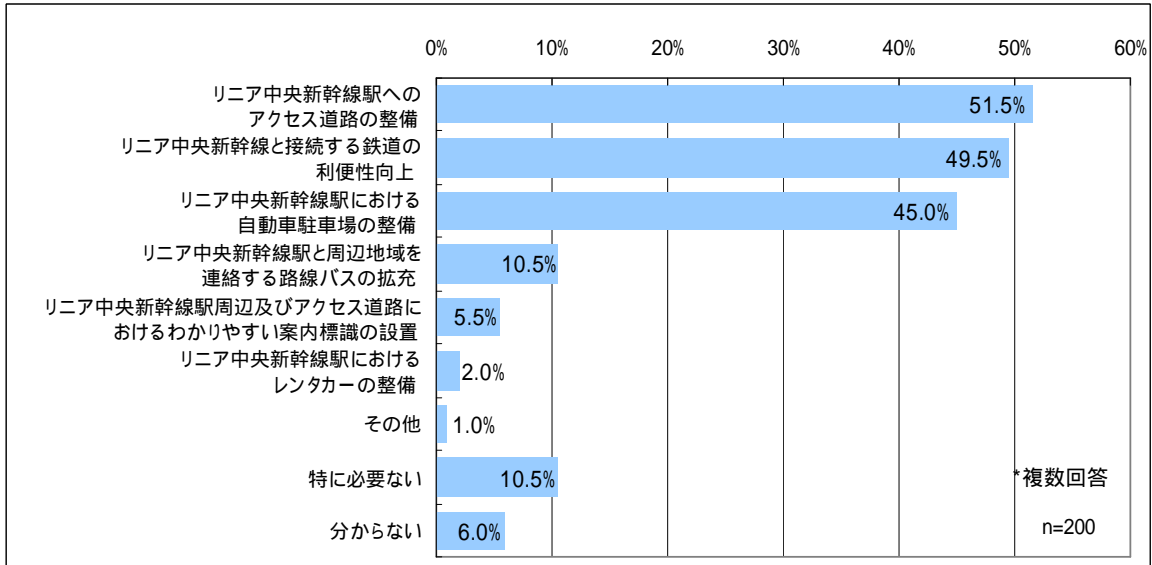
[利用する機会が多いと考えられるリニア中央新幹線駅までの交通手段]



リニア中央新幹線を利用して県外へ移動するために必要な対応

「リニア中央新幹線駅へのアクセス道路整備」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

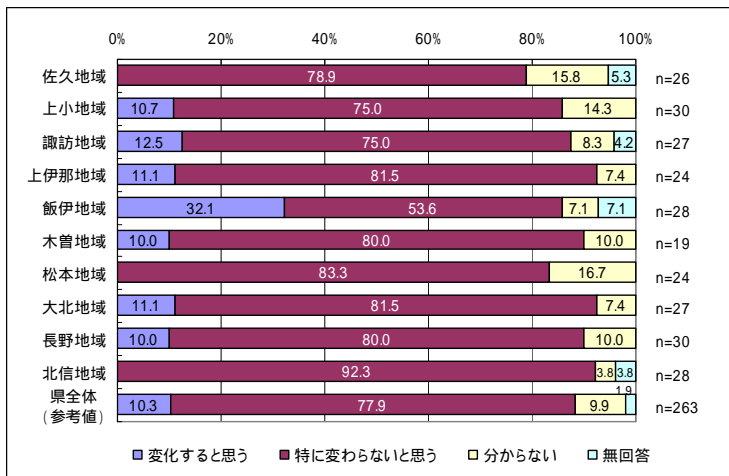
[県外へ移動するために必要な対応]



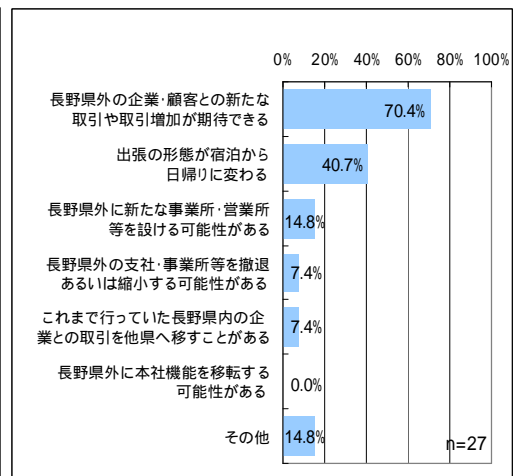
リニア中央新幹線が開業した場合における事業所の事業や営業範囲等の変化

「長野県外の企業・顧客との新たな取引や取引増加が期待できる」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

[変化の有無]



[変化すると考えられる内容]



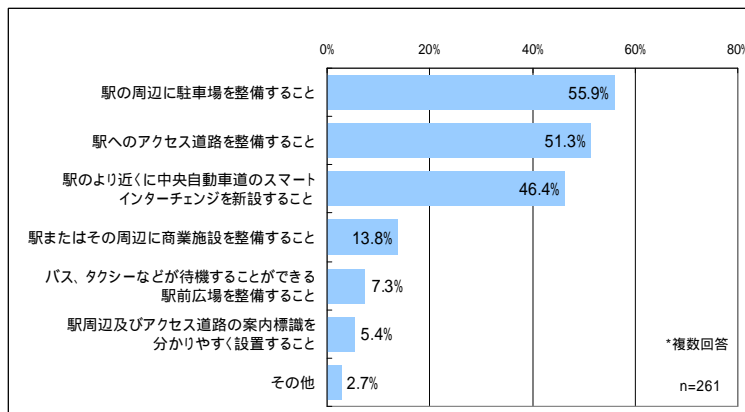
リニア中央新幹線開業に併せて県や市町村が取り組んで欲しい事項

【交通面での取組】
 「駅の周辺に駐車場を整備すること」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

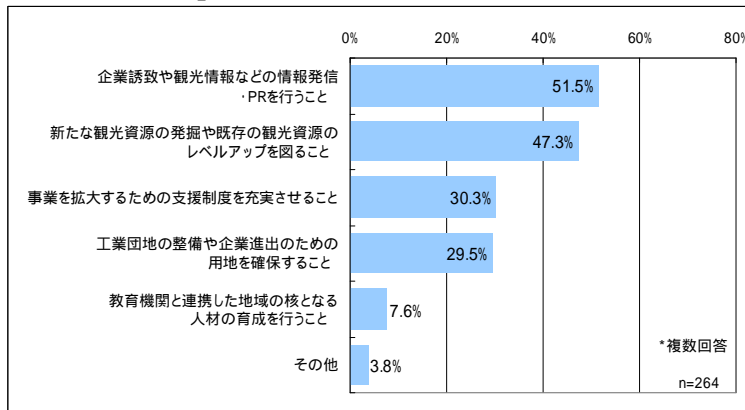
【産業・観光面での取組】
 「企業誘致や観光情報などの情報発信・PRを行うこと」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

【まちづくり面での取組】
 「リニア中央新幹線駅を中心とした魅力ある一体的な開発を行うこと」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

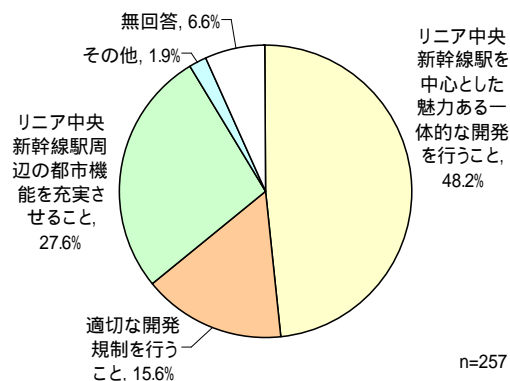
[交通面での取組]



[産業・観光面での取組]



[まちづくり面での取組]



リニア中央新幹線開業に期待する事項、不安を感じる事項

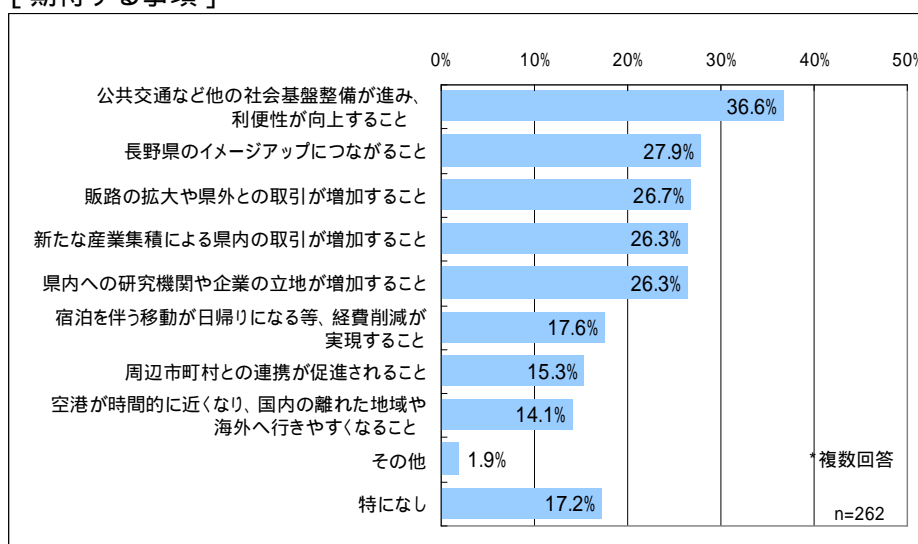
【期待する事項】

「公共交通など他の社会基盤整備が進み、利便性が向上すること」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

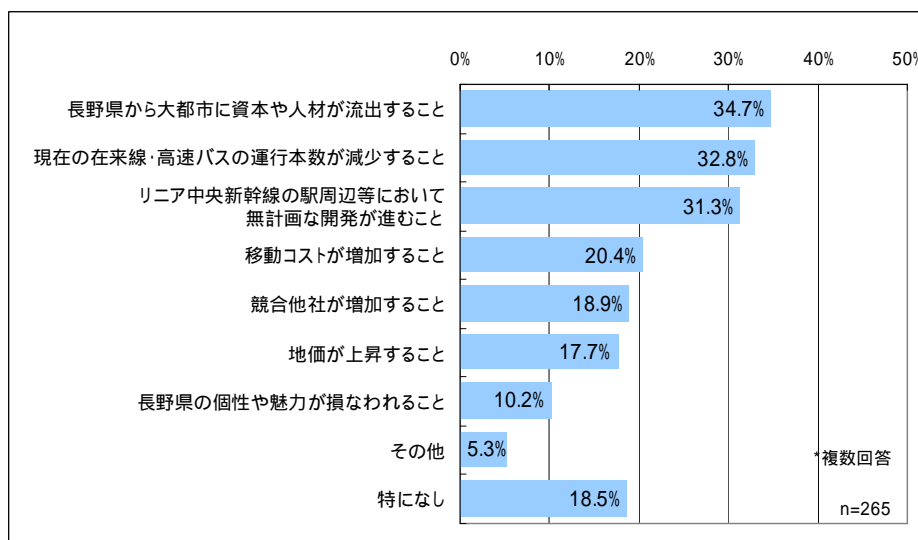
【不安を感じる事項】

「長野県から大都市に資本や人材が流出すること」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

[期待する事項]



[不安を感じる事項]



(5) 北陸新幹線が延伸された場合の変化について

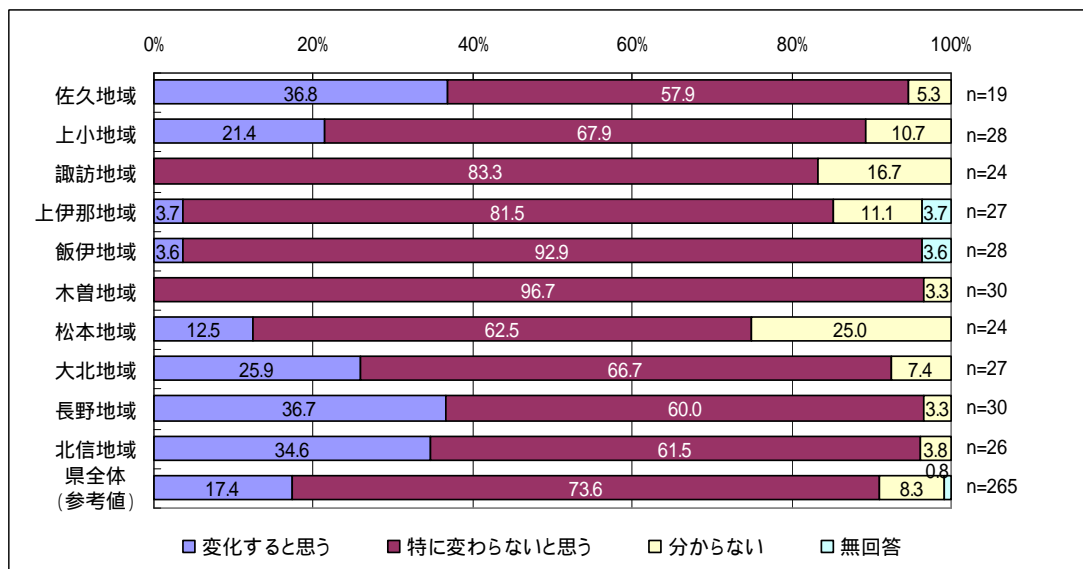
【事業所の事業や営業範囲等の変化】

「事業活動に何らかの変化がある」と回答した事業所が、「佐久地域」で 36.8%、「長野地域」で 36.7%、「北信地域」で 34.6%となっている。

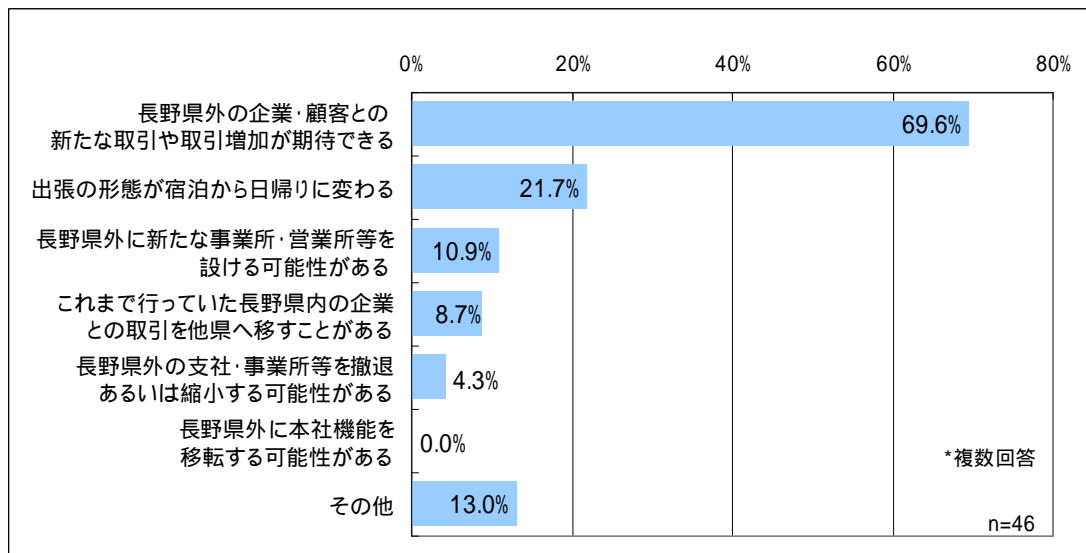
【変化すると考えられる内容】

「長野県外の企業・顧客との新たな取引や取引増加が期待できる」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

[事業所の事業や営業範囲等の変化]



[変化すると考えられる内容]



(6) 長野県の産業活動を強化・維持していくために、今後重視すべき交通面での取組について

「舗装や除雪等の管理が徹底された安全な道路環境」を挙げる事業所が、最も多くなっている。

[今後重視すべき交通面での取組]

